

4年間（2020～2023年度）の取組内容

1. まちやサテライトキャンパス（地域連携拠点）の活用事例

開所式後、京都を題材とした「落語会」を開催。地域の方々 に学びの拠点を公開



2020年度 開所式

卒業生を中心に仕事を通じた女性のキャリア形成についての講演会と意見交換



2021年度・2022年度 文化講座

和菓子屋と連携したイベントを実施 学生が企業連携で作成した商品も販売



2021年度 華子家～町家で感じる京都の伝統～

マインドフルネスと陰陽ヨガ、2つの視点からセルフケアの大切さを学ぶワークショップ



2021～23年度 ヨガ・マインドフルネス

まちや居住インテリアデザイナーをコンセプトに4種のワークショップを実施



2022年度 “町家もも”のお家へおいでやす

認知症カフェ、スマホ教室など、ゼミ教育から発展した学生と地域住民no交流ワークショップ



2022～23年度 学生と住民の交流

まちやとオペラ、プロと連携して新しい組み合わせの地域交流イベントを実施



2023年度 時空間絵巻 ～まちやオペラハウス～

「食と健康」「伝統産業」をテーマにした販売会と学生によるオーラルフレイル予防の体験会



2023年度～ 光華イキイキ朝市

2. アクティブラーニングを織り込んだ「地域連携型教育の拡大」の事例

・短期大学部 必修科目（7科目）一部科目は複数テーマから選択

ライフデザイン・コンピテンシーⅡd

地域と積極的に交わり、地域が抱える問題の情報収集を通じて社会を理解する



ライフデザイン特論e

野菜の収穫体験 作業見学を通じ、SDG'sテーマである「食品ロス」問題を考察する



・短期大学部 選択科目（5科目）

パッケージデザイン演習

京都市の企業と実際に販売する商品をテーマにパッケージのデザインを検討・提案する



くらしに生きるものづくり

伝統が受け継がれるものづくりにフォーカスし、ものづくりを通して私たちのくらしを考える



・短期大学部から大学への提供科目（2科目）

京の伝統文化を創る

落語・舞妓・百人一首・町めぐりなど京都に関係の深い伝統文化を体験し人間性を育む



商品企画論

京都市の企業と新商品開発をテーマにコンセプトワークを行い、商品企画書作成の知識を修得する



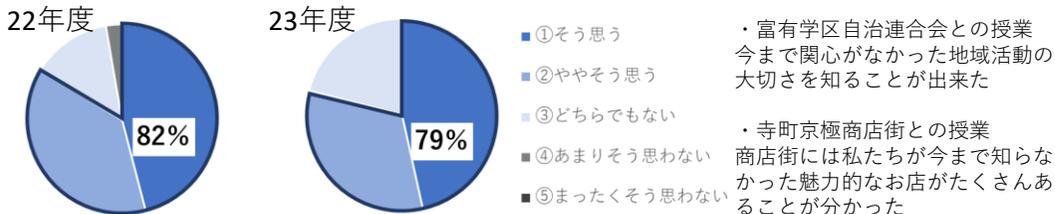
3. 卒業生・地域の女性を巻き込むリカレント教育

目的	2020	'21	'22	'23
(再就職支援) 実践型インターンシップ	カウンセリングの強化 (6回/人)	1dayインターンシップの実施	1dayインターンシップ実施 実践型インターンシップ(80時間)実施	1dayインターンシップ実施 実践型ノウハウを在学生教育へ展開
(地場産業支援) 伝統産業継承プログラム	京の伝統文化を創る(正課)をリカレント提供 卒業生調査(伝統産業従事者、起業家)		京七宝担い手による基礎講座 在学生教育(西陣織、日本酒)連携	西陣織担い手による基礎講座 在学生教育(西陣織、日本酒)連携

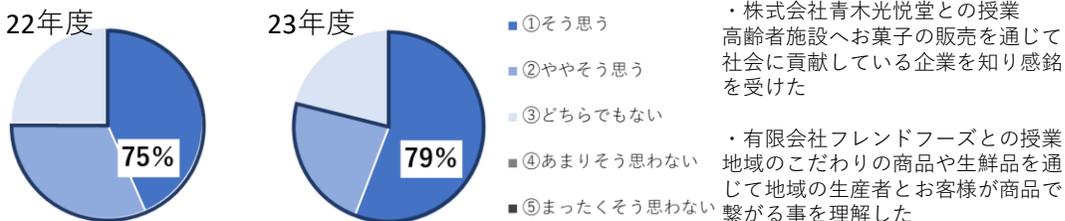
地域連携科目を履修した学生の成長感調査（22.23年度）

全15回授業終了後に実施した学生の成長感調査から、授業を通じて地域や地域の企業に対する興味・理解が深まった事を確認した

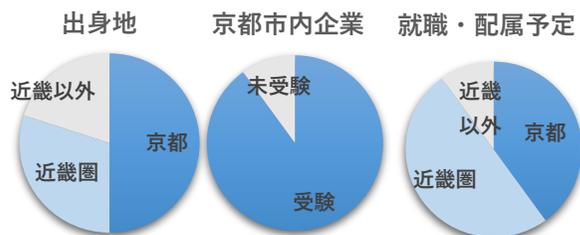
①授業を受けて地域や地域の企業に対する興味が広がったか？



②授業を受けて地域や地域の企業に対する理解が深まった？



2022年度内定者への就職活動に関するインタビュー調査



1年生による先輩インタビューを実施
対象は一般企業への就職を希望する
大学生と短大生10名

→ 9割が京都市内の企業を受験
→ 未受験理由は希望業種の募集が無い

↓
・京都市内の企業に魅力を感じている
・業種や業務範囲、採用枠も影響あり

大学生が思う京都企業の印象（1年生まとめ）

伝統的な企業への安心感。一方、若者が活躍しにくいという懸念も一部あり。

- ① 伝統的で街づくりを大事にしている安心する
- ② 小さい範囲での活動に魅力を感じる
- ③ 京都の企業は採用活動の終了が早い
- ④ 観光業や飲食系が多いイメージ
- ⑤ ベンチャー企業が少ない
- ⑥ 京都支店が少ない
- ⑦ 業種も企業数も大阪の方が多い
- ⑧ 京都に大企業があるのには分かっているが採用されないと思っている
- ⑨ いずれ京都に戻りたいが一人暮らしにも興味がある

学内の実施体制

実施主担当

体制基盤：地域連携推進センター（CRC）
京都市、特に本学が立地する右京区を中心とした地域と連携し、産官学連携による地域との共生などの推進をはかる拠点として2013年4月に設置

実施担当

地域連携推進委員（各学科の教員7名）とセンター職員
・ライフデザイン学科（教育プログラム開発担当）
・就職支援センター（就職・企業連携）
・女性キャリア開発研究センター（リカレント教育）

ライフデザイン学科	健康栄養学科	医療福祉学科	心理学科	看護学科	キャリア形成学科	こども教育学科
-----------	--------	--------	------	------	----------	---------

達成目標（定量的目標）と4年間の実績

項目	2020年	'21年度	'22年度	'23年度	
まちやキャンパス活用	目標	2回	16回	24回	24回
	実績	3回	17回	46回	44回
地域連携型教育の拡大	目標	4科目	8科目	12科目	12科目
	実績	5科目	10科目	14科目	14科目
市内就職率'19年度22%	目標	↑	↑	↑	30%
	実績	10%	23%	25%	5月確定

今後の方向性

引きつづき、在学生が地域や地域住民との交流を深めることで京都に暮らし続ける自分をイメージし、学生自らが「地域で学び・地域で働き・地域で暮らす」選択として「京都市」を選ぶことを目指す。そして、地域住民とともにリカレント教育の受講を推進し女性のキャリア形成に貢献する。